

各 位

令和 6 年 11 月  
一関信用金庫

一関信用金庫ディスクロージャー誌記載内容の一部訂正について

平素は、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、一関信用金庫ディスクロージャー誌「ICHISHIN REPORT 2023」に誤りがありましたので、深くお詫び申し上げますとともに、下記のとおり訂正させていただきます。

記

【訂正内容】

①令和 6 年 11 月 20 日

— 資料編 —

頁	項 目	誤	正
4	貸借対照表の注記	(1) ～ (16) (略) (17) 信用金庫法及び金融機能の再生のための緊急措置に関する法律に基づく債権は次のとおりであります。なお、債権は、貸借対照表の <u>(追加)</u>  貸出金、～  (18) ～ (19) (略)  <u>(追加)</u>  (20) 出資 1 口当たりの純資産額 7,013 円 6 銭  (21) 金融商品の状況に関する事項 ①～③ (I) ～ (IV) (略)	(1) ～ (16) (略) (17) 信用金庫法及び金融機能の再生のための緊急措置に関する法律に基づく債権は次のとおりであります。なお、債権は、貸借対照表の <u>「有価証券」中の社債（その元本の償還及び利息の支払の全部又は一部について保証しているものであって、当該社債の発行が有価証券の私募(金融商品取引法第 2 条第 3 項)によるものに限る。）、貸出金、～</u>  (18) ～ (19) (略)  <u>(20) 「有価証券」中の社債のうち、有価証券の私募(金融商品取引法第 2 条第 3 項)による社債に対する当金庫の保証債務の額は 130 百万円であります。</u>  (21) 出資 1 口当たりの純資産額 7,013 円 6 銭  (22) 金融商品の状況に関する事項 ①～③ (I) ～ (IV) (略)

— 資料編 —

頁	項目	誤	正
5	貸借対照表の注記	<p>(22) 金融商品の時価等に関する事項 令和5年3月31日における貸借対照表計上額、～</p> <p>(1) 預け金 (略)</p> <p>(2) 有価証券 株式は取引所の価格、～</p> <p>なお、保有目的区分ごとの有価証券に関する注記事項については(23)から(25)に記載しております。</p> <p>(3) 貸出金 (略)</p> <p>(23) 有価証券の時価及び評価差額等に関する事項は次のとおりであります。これらには、～ 以下(24)まで同様であります。</p> <p>(24) 当事業年度中に売却したその他有価証券</p> <p>(25) 当事業年度中に、～</p> <p>(26) 当座貸越契約及び貸付金に係るコミットメントライン契約は、～</p> <p>(27) 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳は、～</p> <p>(28) 会計方針の変更</p>	<p>(23) 金融商品の時価等に関する事項 令和5年3月31日における貸借対照表計上額、～</p> <p>(1) 預け金 (略)</p> <p>(2) 有価証券 株式は取引所の価格、～</p> <p>なお、保有目的区分ごとの有価証券に関する注記事項については(24)から(26)に記載しております。</p> <p>(3) 貸出金 (略)</p> <p>(24) 有価証券の時価及び評価差額等に関する事項は次のとおりであります。これらには、～ 以下(25)まで同様であります。</p> <p>(25) 当事業年度中に売却したその他有価証券</p> <p>(26) 当事業年度中に、～</p> <p>(27) 当座貸越契約及び貸付金に係るコミットメントライン契約は、～</p> <p>(28) 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳は、～</p> <p>(29) 会計方針の変更</p>

②令和5年12月7日

— 企業編 —			
頁	項目	誤	正
1	ごあいさつ 2列目(右) 9行目	～自己資本比率は <u>11.51%</u> と国内外の基準を大きく上回る水準となり、～	～自己資本比率は <u>11.41%</u> と国内外の基準を大きく上回る水準となり、～

— 企業編 —			
頁	項目	誤	正
4	自己資本の額・自己資本比率の状況 [グラフ]	2022年度 自己資本比率 <u>11.51</u>	2022年度 自己資本比率 <u>11.41</u>
4	主要な経営指標の推移 単体自己資本比率 (%)	2022年度 <u>11.51</u>	2022年度 <u>11.41</u>
24	リスク資本の状況と資本配賦 (百万円) [グラフ]	配賦可能資本 <u>8,035</u> バッファー資本 <u>1,999</u>	配賦可能資本 <u>7,997</u> バッファー資本 <u>1,961</u>
24	●2023年3月期 (単位:百万円)		
	【リスクアセット】(A)	<u>106,920</u>	<u>107,868</u>
	所要自己資本額 (国内基準4%) (C)=(A)×4%	<u>4,277</u>	<u>4,315</u>
	配賦可能資本(D)=(B)-(C)	<u>8,035</u>	<u>7,997</u>
	【バッファー資本】(F)=(D)-(E)	<u>1,999</u>	<u>1,961</u>
24	右下文章 3行目	～(D)は、 <u>8,035</u> 百万円とな っており、～	～(D)は、 <u>7,997</u> 百万円とな っており、～
24	右下文章 6行目	～ <u>1,999</u> 百万円の余裕資本 (バッファー資本～	～ <u>1,961</u> 百万円の余裕資本 (バッファー資本～
— 資料編 —			
頁	項目	誤	正
5	貸借対照表の注記 (26) 3行目	～融資未実行残高は、 <u>29,797</u> 百万円で～	～融資未実行残高は、 <u>31,693</u> 百万円で～
14	自己資本の構成に関する開示事項(単体) (単位:百万円)		
	項目	2022年度	2022年度
	(略)	(略)	(略)
	信用リスク・アセットの額の合計額	<u>102,287</u>	<u>103,235</u>
	(略)	(略)	(略)
	リスク・アセット等の額の合計額(ニ)	<u>106,920</u>	<u>107,868</u>
自己資本比率((ハ)/(ニ))	<u>11.51</u> %	<u>11.41</u> %	

— 資料編 —

頁	項目	誤	正				
15	自己資本の充実度に関する事項（単体）（単位：百万円）						
	項目	2022年度		2022年度			
		リスク・アセット	所要自己資本額	リスク・アセット	所要自己資本額		
		イ.信用リスク・アセット、所要自己資本の額の合計		<u>102,287</u>	<u>4,091</u>	<u>103,235</u>	<u>4,129</u>
		①標準的手法が適用されるポートフォリオごとのエクスポージャー		<u>103,694</u>	<u>4,147</u>	<u>104,642</u>	<u>4,185</u>
		(略)		(略)	(略)	(略)	(略)
		法人等向け		<u>45,966</u>	<u>1,838</u>	<u>46,914</u>	<u>1,876</u>
		(略)		(略)	(略)	(略)	(略)
	ハ.単体総所要自己資本額(イ+ロ)		<u>106,920</u>	<u>4,277</u>	<u>107,868</u>	<u>4,315</u>	
16	信用金庫の自己資本の充実度に関する評価方法の概要 1行目	リスク資産に対する自己資本比率は <u>11.51%</u> と～	リスク資産に対する自己資本比率は <u>11.41%</u> と～				
19	信用リスクに関する事項（リスク・ウェイトのみなし計算が適用されるエクスポージャー及び証券化エクスポージャーを除く）（単体）（単位：百万円） ①信用リスクに関するエクスポージャー及び主な種類別の期末残高<地域別・業種別・残存期間別>						
	エクスポージャー区分	信用リスク	貸出金、コミットメント及びその他のデリバティブ以外のオフ・バランス取引	信用リスク	貸出金、コミットメント及びその他のデリバティブ以外のオフ・バランス取引		
		エクスポージャー期末残高	エクスポージャー期末残高	エクスポージャー期末残高	エクスポージャー期末残高		
	地域区分	2022年度	2022年度	2022年度	2022年度		
	業種区分	国内	<u>239,496</u>	<u>95,875</u>	<u>240,444</u>	<u>96,823</u>	
	期間区分	(略)	(略)	(略)	(略)		
		地域別合計	<u>256,458</u>	<u>95,875</u>	<u>257,406</u>	<u>96,823</u>	
		製造業	<u>14,733</u>	<u>6,004</u>	<u>15,681</u>	<u>6,952</u>	
		(略)	(略)	(略)	(略)		
		業種別合計	<u>256,458</u>	<u>95,875</u>	<u>257,406</u>	<u>96,823</u>	
		(略)	(略)	(略)	(略)		
		3年超5年以下	<u>18,975</u>	<u>7,455</u>	<u>19,923</u>	<u>8,403</u>	
		(略)	(略)	(略)	(略)		
	残存期間別合計	<u>256,458</u>	<u>95,875</u>	<u>257,406</u>	<u>96,823</u>		

— 資料編 —			
頁	項目	誤	正
20	信用リスクに関する事項（リスク・ウェイトのみなし計算が適用されるエクスポージャー及び証券化エクスポージャーを除く）（単体）（単位：百万円）		
	④リスク・ウェイトの区分ごとのエクスポージャーの額等		
	告示で定めるリスク・ウェイト区分(%)	エクスポージャーの額	エクスポージャーの額
		2022 年度	2022 年度
		格付適用なし	格付適用なし
	(略)	(略)	(略)
	100%	<u>36,416</u>	<u>37,364</u>
	(略)	(略)	(略)
	小計	<u>184,988</u>	<u>185,936</u>
その他	—	—	
合計	<u>184,988</u>	<u>185,936</u>	
22	信用集中リスク 7行目	～は変わらず <u>11.51%</u> であり、～	～は変わらず <u>11.41%</u> であり、～

③令和5年9月12日

— 資料編 —			
頁	項目	誤	正
9	債務保証見返の担保別内訳（単位：百万円）		
	区分	2022 年度	
	(略)	(略)	(略)
	信用	<u>669</u>	<u>539</u>
合計	<u>760</u>	<u>630</u>	

以上